

おまけ 今回の新しい計画について実際に話し合ってきた人たちから、こどものみなさんへのメッセージ

ふだん、計画づくりや計画の進み具合などについて話し合いをしている人たち

(五十音順・「様」や「さん」などは省略)

名前	どんな人？	こどものみなさんへのメッセージ
あおき えりこ 青木 恵里子	法律の専門家 (弁護士)	ひとりひとりがこどもの権利を持ち、尊重される、かけがえのない存在です。思いや意見を大切に、信頼できるおとなに伝えてください。みなさんの歩みを応援しています。
かみかど かずひろ 上鹿渡 和宏	大学の先生 (早稲田大学 人間科学学術院 教授)	「こどものために」と言いながら、そうならないことをみなさんとともに変えていきたいです。一人一人の今とこれからを大事にしながら、未来のこどものことも思い変えていきましょう。
かわせ かつとし 川瀬 勝敏	施設の職員 (長野県児童福祉施設連盟 会長)	将来おとなになるみなさんのことをよく考えて、たくさん話し合いをしてつくりました。ひとりひとりのいのちと育ちを大切にする施設をつくっていきます。
しのだ ひろこ 篠田 広子	施設の職員 (風越乳児院 副院長)	みなさんが困ったとき、相談したいとき、今思っていることを私たち大人が聞きます。大切な命、みなさんを守りたいと思っています。そして、ずっと応援したいと思っています。
すぎやま のぶゆき 杉山 伸幸	里親 (長野県里親会連合会 前会長)	産まれてきてくれてありがとう。とっても嬉しいです。色々な感覚や感情を体験できるのも、命あつてのものです。自分だけの人生、自由に自分らしく生きてください。
みやがわ ようこ 宮川 陽子	里親 (長野県里親会連合会 副会長)	こどものあなたが、安心して生活できるように知恵を出し合いました。ほっとしたり、笑顔ですごす時間がたくさんありますように。
むしや ゆきお 武捨 幸雄	施設の職員 (長野県母子生活支援施設連盟 会長)	こども福祉ミーティングルームによろこそ!! 私たちおとなは、あなたたちの最善の利益を求め、保障できるよう、あなたたちに伴走しながら努力して参ります。

参考1 長野県社会福祉審議会児童福祉専門分科会委員名簿

(五十音順・敬称略)

専門委員

あおき えりこ 青木 恵里子	弁護士
かみかど かずひろ 上鹿渡 和宏	早稲田大学 人間科学学術院 教授 ※分科会長
かわせ かつとし 川瀬 勝敏	長野県児童福祉施設連盟 会長 ※副分科会長
しのだ ひろこ 篠田 広子	風越乳児院 副院長
すぎやま のぶゆき 杉山 伸幸	長野県里親会連合会 前会長
みやがわ ようこ 宮川 陽子	長野県里親会連合会 副会長
むしや ゆきお 武捨 幸雄	長野県母子生活支援施設連盟 会長

特別委員

しまおか さきこ 島岡 佐喜子	阿智村教育委員会 こども家庭センター センター長
やまざき ようこ 山崎 陽子	千曲市次世代支援部こども未来課 課長

若者委員

からき はづき 唐木 葉月	社会的養護経験者
まえじま たくみ 前島 拓海	
わたなべ まなみ 渡部 愛美	

(注)特別委員及び若者委員については、今回の計画策定のために、児童福祉専門分科会運営要領の規定に基づき、令和6年度に審議に加わっていただきました。

※ここでは、いただいたメッセージを、できるだけそのままのかたちでのせているので、同じ言葉でも違う漢字やひらがななどになっていることがあります(「おとな」と「大人」・「1人」と「一人」など)。

今回の新しい計画を作るために、特別に参加してくれた人たち

(五十音順・「様」や「さん」などは省略)

名前	どんな人？	こどものみなさんへのメッセージ
からき ほづき 唐木 葉月	施設や里親の家での生活を経験した若者 (社会的養護経験者)	困った時 しんどくなった時 1人で抱え込まずに周りの人や話せそうな大人に言うんだよ。 こども達みんなが幸せになれるように....
しまおか さきこ 島岡 佐喜子	村役場の職員 (阿智村教育委員会 こども家庭センター センター長)	信州に暮らす若い皆さんが自分を大切に、自信をもって生きていくことを応援しています。 困った時や苦しい時は助けてくれる大人が近くにたくさんいることを思い出してください。
まえじま たくみ 前島 拓海	施設での生活を経験した若者 (社会的養護経験者)	信用できる大人を最低3人見つけて、何でも話せる関係・逃げる場所を作って欲しい。 何をして良いかわからない時や、ストレスがたまった時にも頼れる大人をぜひ作ってください！
やまざき ようこ 山崎 陽子	市役所の職員 (千曲市次世代支援部こども未来課 課長)	命を授かりこの世に生まれてきたみなさん、一人ひとりが、生きたいように未来に向かって進んでいくことができるよう、これからもずっとずっと応援をしていきます。
わたなべ まなみ 渡部 愛美	施設での生活を経験した若者 (社会的養護経験者)	大人達は皆がもっと安心して暮らしていける世の中になることを 1 番大事に考えています。 この計画が実現していく事で皆の未来が明るくなっていく事を心から願っています。

※ここでは、いただいたメッセージを、できるだけそのままのかたちでのせているので、同じ言葉でも違う漢字やひらがななどになっていることがあります(「おとな」と「大人」・「1人」と「一人」など)。

参考2 長野県社会的養育推進計画の見直し(後期計画の策定)の経過

令和5年度

年月日(期間)	会議等	内容等
R6.1.18	第1回 長野県社会福祉審議会	長野県社会的養育推進計画の見直し(後期計画の策定)について諮問
R6.3.12	第2回 児童福祉専門分科会	長野県社会的養育推進計画の見直し(後期計画の策定)について報告等

令和6年度

年月日(期間)	会議等	内容等
R6.5.8～ R6.5.10	長野県社会的養育推進計画(後期計画)策定に係る説明会・意見交換会	関係者出席による説明会・意見交換の実施(県内4か所実施)
R6.6.10	第1回 児童福祉専門分科会	骨子案に向けた論点整理等
R6.6.19～ R6.7.31	長野県社会的養育に関する実態調査	計画策定に向け、被措置児童の生活状況、保護者への支援状況、施設職員の支援状況等を定量的するため、アンケート調査を実施
R6.9.17	第2回 児童福祉専門分科会	骨子案の審議等
R6.10.17～ R6.11.8	長野県社会的養育推進計画(後期計画)策定及び今後の社会的養育推進に係る地域懇談会	各地域の社会的養育関係機関等が今後の社会的養育のあり方について意見交換するとともに、相互の連携を深め、各地域での社会的養育を推進していくための地域懇談会の実施(県内 10 か所実施)
R6.11.25	第3回 児童福祉専門分科会	計画原案の審議等
R6.12.10～ R7.1.9	県民意見公募手続(パブリックコメント)の実施	計画原案に対する県民意見公募手続(パブリックコメント)の実施
R6.12.14	被措置児童との座談会	被措置児童に対して計画原案について説明するとともに、現在の生活の実態や思い等について聴取(県内2か所実施)
R7.2.5	第4回 児童福祉専門分科会	最終計画案・答申案の審議
R7.3.12	第1回 長野県社会福祉審議会	長野県社会的養育推進計画の見直し(後期計画の策定)の答申案について審議(その後、答申)
R7.3.21	計画策定	